

2025

発行日 毎月1日 通算発行 467号

3



協会報

今月のトピックス

北陸地方整備局との意見交換会の開催
馳 浩知事への要望活動



災害復興の足音



《石川の工芸シリーズ®》

個人蔵 〈撮影：濱崎敏彦〉

幾何紋金白金彩台皿

多田 幸史【昭和48(1973)年一】

制作年／令和6(2024)年 サイズ／径33.5×高さ3.5cm
作者は金沢市生まれ。九谷焼の磁器土、絵具、金属などの素材と伝統的な手法を大切にしながら、幾何紋を組み合わせた斬新な作品を生み出す陶芸家である。この作品は、石川県立美術館特別展「食を彩る工芸」(2024年)開催の際に、料理を饗する工芸品として作者が展覧会のために制作したもの。器物の中心に“食を盛る・載せる”役割があることを考慮し、成形・加飾されている。台皿には円弧の紋様がリズムカルに描かれ、また九谷の白が余白を演出。縁を彩る白金の幾何紋が、シックな色調で全体の雰囲気をもたえ上げている。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS

2025

3



《石川の工芸シリーズ⑨》
幾何紋金白金彩台皿
多田 幸史(ただ ゆきふみ)

1 今月のトピックス

- 北陸地方整備局との意見交換会の開催 1
- 馳 浩知事への要望活動 2

2 災害復興の足音

3 石川県土木部だより

- 和倉温泉の護岸整備に着手
- 石川県土木部河川課・港湾課

4 今月の「輝き！」さん No.119

- 株式会社トーケン きたがわしゅんや 北川 竣也さん

5 人材育成・確保

- 工業系高等学校における学業成績優良卒業生に対する協会長表彰の実施 7
- 工業系高校生を対象とした現場見学会の開催 7

6 協会だより

- 常任理事会の開催 8
- 戦略広報・情報化推進委員会
建設現場の生産性向上（生成AI活用術）講習会の開催 8
- 建設青年委員会
講演会の開催 9
- 建設技術研修所
建設業税財務講習会の開催 9

7 編集担当者からのお知らせ

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

一般社団法人
石川県建設業協会
GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION

- > ホーム
- > 協会案内
- > お知らせ
- > 講習会・研修会
- > 協会報
- > 指名競争入札参加
- > お問い合わせ

イメージアップ工事着飾
未来への画「石川をつくる」

今月の「輝き！」さん

現場で活躍する
女性力カッコイイ

建設共済保険

建設共済保険

こちらで地区協会等の
情報発信をしております。
ぜひご覧ください。

Instagram icon

QR code

ホームページをご覧ください

今月のトピックス

北陸地方整備局との意見交換会の開催

開催日時 令和7年2月3日（月）15：30~17：05

開催場所 ANAクラウンプラザホテル金沢

出席者 北陸地方整備局 高松 諭局長、信太啓貴企画部長、五十川泰史金沢河川国道事務所長、
杉本 敦能登復興事務所長 他9名

協 会 鶴山市会長、真柄卓司副会長、中市勝也副会長、小中出佳津良副会長、
山岸 勇専務理事 他役員19名、事務局2名

概要

冒頭、高松局長は、「県建設業協会及び会員企業の皆様には、能登半島地震、奥能登豪雨災害の対応に特別のご支援を賜り、あらためて厚く御礼申し上げます。発災後1年余が経過して査定も一通り終わり、これからが皆様のお力を発揮していただく本番となることから、引き続きご協力いただきたい。」と挨拶されました。続いて鶴山会長が、「能登半島地震及び奥能登豪雨災害における北陸地方整備局の大変な取り組みに対し、あらためて御礼申し上げます。引き続き、良好な関係のもと、建設業界の課題解決と公共事業の執行に取り組んでまいりたい。」と挨拶しました。

続いて、信太企画部長から「令和6年度の予算」及び「北陸けんせつミライ2025」等に関する説明、次いで建政部、営繕部から取り組みの説明がありました。意見交換では、以下6項目について意見が交わされました。



高松局長 挨拶



鶴山会長 挨拶



意見交換会

- 能登地域の創造的復興（地震、豪雨災害からの早期の復旧・復興）
- 公共事業予算の持続的・安定的な確保と防災・減災、国土強靱化対策の着実な推進
- 地元建設業者の受注機会の拡大
- 第3次担い手3法に基づいた適正な入札・契約制度の実施
- 働き方改革と生産性向上
- 「地域の守り手」として災害対応できる体制の強化

馳 浩知事への要望活動

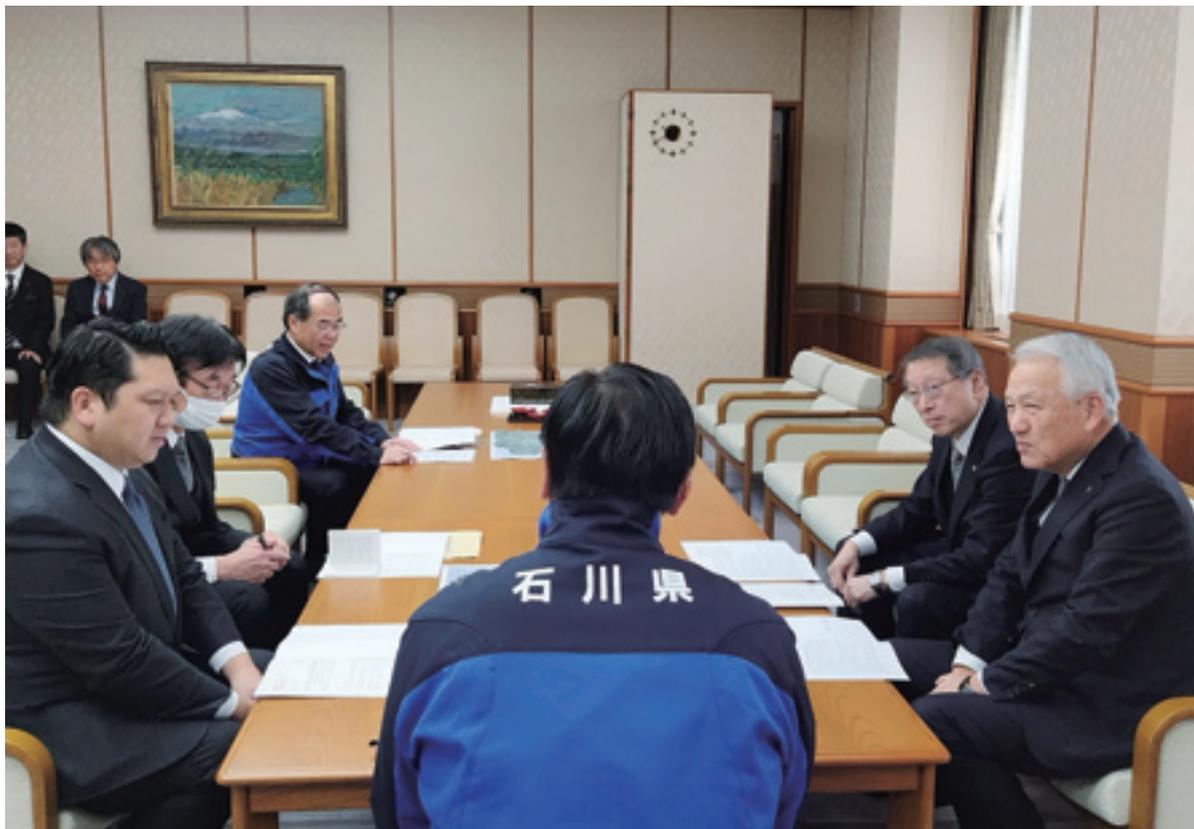
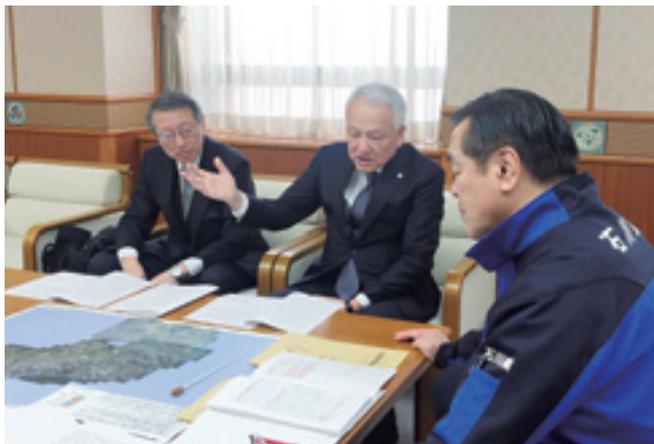
2月21日(金)、鶴山庄市県建設業協会長(山岸 勇専務理事同行)は、馳 浩知事を訪問し、能登半島地震及び奥能登豪雨災害の復旧工事が円滑に推進されるよう週休二日制の導入や復興係数等の被災地特例の実施等を求める要望書を手渡しました。馳 浩知事は、「働きやすい環境整備に向けて前向きに検討したい。」と述べられました。

特に、鶴山庄市会長が災害現場の状況は作業効率が低下し、労働力・資機材も不足し費用がかさむ傾向にあることを説明し、被災地特有の事情を考慮して、復興歩掛や間接費の増加に対応した復興係数を導入して予定価格を算出されるよう国への働きかけを求め、馳知事から「今後、国に働きかける。」旨のお話がありました。

なお、要望時に、県港湾漁港建設協会(鶴山雄一会長)も同席され、同様の要望書を提出されました。

〈当協会の要望事項〉

- 「オール石川」で復旧・復興事業に取り組むための入札制度
- 復旧・復興事業の円滑な執行と働き方改革の推進
- 復旧・復興事業における適切な経費の設定



災害復興の足音

道路災害の復旧工事

能登半島地震の被害に加え、9月に発生した奥能登豪雨により県管理道路では最大25路線48箇所が通行止めとなっていました。国・県と連携した復旧工事により、令和7年2月末現在で10路線19箇所まで解消されています。

【県道38号「輪島浦上線」における復旧工事】

①輪島市西二又町地内



②輪島市大沢町地内



【県道8号「松任宇ノ気線」(内灘町地内)における復旧工事】



【国道249号(沿岸部)における復旧工事】

海岸隆起部を活用した車線確保により、令和6年末に通行可能となりました。



大川浜工区

千枚田工区

逢坂トンネル工区

〈写真提供；石川県、(一社)河北郡市土建協同組合、国土交通省北陸地方整備局能登復興事務所〉

石川県建設業協会では、行政と連携を取りながら一刻も早い復旧・復興に向け、引き続き各種業務に従事してまいります。

がんばろう能登！ がんばろう石川！

石川県土木部だより

和倉温泉の護岸整備に着手

石川県土木部河川課・港湾課

1 はじめに

令和6年能登半島地震では、七尾市の和倉温泉においても温泉旅館等が所有する民有護岸や、七尾市が管理する護岸等が広範囲に被災しました。和倉温泉は、能登の観光の中心的拠点であり、その一日も早い復旧・復興は、能登全体の復興を進める上で極めて重要ですが、復旧にあたっては、護岸と旅館が近接し、技術的に高度な検討を要することに加え、民有護岸における多大な復旧費用が、温泉旅館等の負担になるといった課題がありました。

このため、和倉温泉観光協会を中心に、国や県、七尾市等が参画する「和倉温泉護岸復旧会議」において検討が進められ、国主導のもと、昨年9月に復旧方針が取りまとめられました。

この中で、自力での復旧が困難な民有護岸については、和倉港の港湾区域外は県、港湾区域内は七尾市にそれぞれ公共帰属した上で、県と市で復旧することとなりました。



写真-1 被災した護岸と旅館との近接状況



写真-2 護岸復旧会議の開催状況

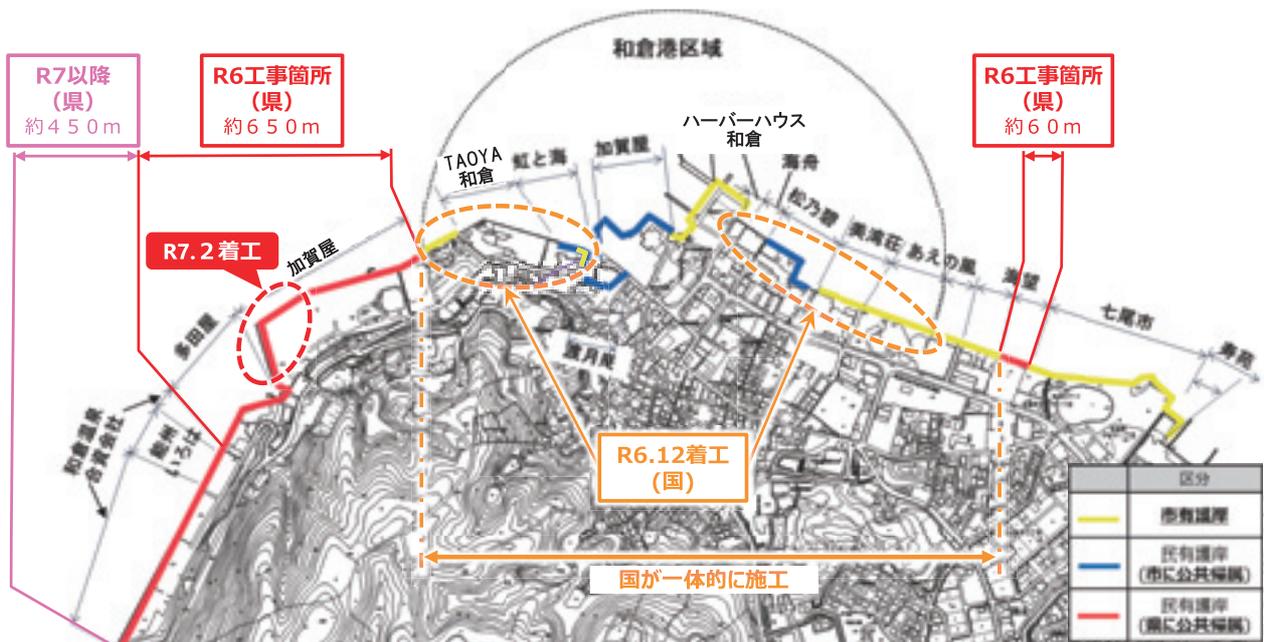


図-1 和倉温泉の護岸復旧区分

2 護岸復旧のポイント

和倉温泉護岸復旧会議で取りまとめられた復旧のポイントは主に3点となります。

①和倉温泉の1日も早いなりわい再生

海側に重機が通行可能となる仮設道路を整備し、護岸と旅館の復旧を同時に進めることで、温泉地域全体の復旧工事期間をできる限り短縮します。

②和倉温泉の魅力の維持

護岸は被災前と同じ位置・高さでの復旧を基本とすることで、護岸復旧後の旅館からの眺望に配慮します。

③周辺の環境に配慮

仮設道路の整備には天然石を活用し、魚が生息しやすい海洋環境の構築に貢献するとともに、仮設道路撤去後の復旧した護岸を藻場造成の場として活用することで、水産振興にも寄与します。

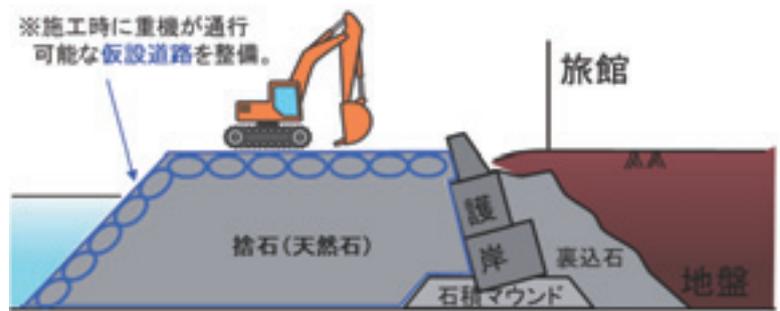


図-2 護岸施工中のイメージ

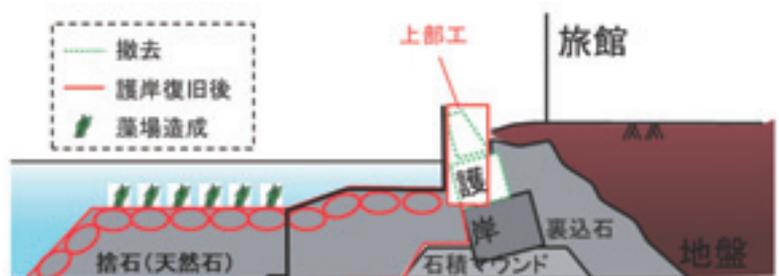


図-3 護岸復旧後のイメージ

3 護岸工事の状況

港湾区域内においては、国が七尾市に代わって復旧工事を行うこととなり、昨年12月までに護岸工事に着手しております。港湾区域外においても、公共帰属の手続きを終えたことから、本年2月から県が護岸工事に着手しております。



写真-3 港湾区域内の施工状況（国代行）



写真-4 港湾区域外の資材搬入状況（県施工）

4 おわりに

地震発生から1年となる節目に護岸工事に着手することができました。引き続き、地元観光協会はもとより、国、七尾市等関係機関と連携し、令和8年度中を目途に可能な限り早期の復旧を目指してまいります。

今月の「輝き！」さん
No. 119



株式会社トーケン きたがわしゅん や 北川 竣也さん
 所 属：工務管理本部
 経験年数：5年11カ月
 年 齢：27歳

白山市松本町の現場事務所に「今月の輝きさん」を訪ねました。

ーあなたの会社について教えてください。

弊社は、昭和45年創立。金沢と小松の2つの本社を拠点に、地域に根付いた建設ゼネコンとして、建設事業を中心に地域貢献やワンストップサービスをモットーに、グリーンビズ（環境緑化）、障害者支援や高齢者介護施設紹介、賃貸マンション管理、不動産開発等、建設に関連した事業を展開しています。私は、工務管理本部に在籍し、現場の安全・品質・工程・予算管理等、現場運営に取り組んでいます。

ー建設業を選んだ理由、入社のもち等について教えてください。

金沢工業大学建築学科を卒業し、「生まれ育った石川の地に建物を形として残したい。」と考え、地元ゼネコンで最も売り上げ高の高いトーケンの会社説明会に参加しました。そこで、建物の施工実績や豊富な若手社員層に魅力を感じ、「この会社で働きたい。」と思い志望しました。弊社は、建設DXにも積極的に取り組んでおり、「社員が主役」の経営信条どおり、若手社員が活躍できる環境が整っています。

ー仕事でやりがいを感じる時、心がけていることはありますか？

何もない更地の状態から試行錯誤して工事を進め、やっとの思いで建物が完成した時にやりがいを感じています。最も心がけていることは、請け負った建物を自分の家(ワガコト)と思うことです。常に自分の家を建てる気持ちで妥協せず、お客様が求める安価で高品質な仕上がりの良い建物づくりに努めています。

ー休日はどのように過ごしていますか？

ドライブが好きで、マニュアル車のインプレッサで県外の有名な建築物を巡ったり、スーパー銭湯に行くのが最近の趣味です。最近訪れた長野県のおやきファームという食品生産工場は、木造の複雑な構造で外観の緑と調和のとれた印象的な建物でした。昨年11月に第一子が生まれ、今は家族と散歩や買い物に行く等、のんびりと休日を過ごすのが楽しみです。



ー最後に建設業を目指す後輩たちに一言。

建設業というと、キツイとか残業時間が長いのではというブラックなイメージを抱かれがちですが、実際には建設DXによる作業の効率化やBIM活用による現場の負担軽減が図られています。弊社も残業時間の削減や4週8休を目指す働き方改革を積極的に推進しており、大変働きやすい環境になっています。建物をつくるやりがいや喜びを是非、一緒に感じてみませんか。



けんせつ一番星☆

[-Sunset Express-MOVE]
毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。是非お聞きください。



人材育成・確保

工業系高等学校における学業成績優良卒業生に対する 協会長表彰の実施

石川県建設業協会では、人材確保・育成事業の一環として、県内の工業系高等学校を対象に、学業成績・学習態度が優秀で、生徒会活動や部活動等に功績があり、卒業後は当協会の会員企業に就職が内定している生徒で、学校長の推薦がある者に対して表彰を行っています。本年度は下記4名を表彰しました。



学校名	羽咋工業高等学校 建設・デザイン科 建築コース	羽咋工業高等学校 建設・デザイン科 土木コース	翠星高等学校 総合グリーン科学科 環境科学コース・ 環境設計分野	小松工業高等学校 建設科
氏名	春木大志	堅田ひなた	西川恒惺	前山瑛史
内定先企業	ハイウェイ・リバー メンテナンス株式会社	加賀建設株式会社	白山建設株式会社	加越建設株式会社

工業系高校生を対象とした現場見学会の開催

開催日 令和7年2月20日(木)
 見学場所 ・Hirooka Terrace (施工 清水建設(株))
 ・金沢生コンクリート(株)
 参加者 金沢市立工業高等学校建築科1年生40名

概要

建設人材確保特別委員会(井戸谷信一委員長)は、県内の工業系高校生を対象とした現場見学会を開催しました。北國銀行本店に隣接するテナントオフィスビル(Hirooka Terrace)として建設中の現場を見学し、同校OBで入職3年目となる先輩から、建設の魅力についてお話いただきました。また、金沢生コンクリート(株)では、現場見学時に打設が行われていたコンクリートの仕組みや過程を学びました。

現場見学会にご協力いただきました方々に、改めて感謝申し上げます。



協会だより

常任理事会の開催

開催日時 令和7年2月5日(水) 12:35~13:45

開催場所 石川県建設総合センター

出席者 正副会長、常任理事、専務理事、各地区協会専務理事(事務局長)、県協会事務局

概要

冒頭、鶴山庄市会長が「災害の復旧・復興を含め、それぞれの地域事象や諸情勢に的確に対応して頂いていることに御礼申し上げる。社会から“目に見える復旧・復興”が求められており、今後も様々な問題や課題が生じると思うが、皆さんと協議しながらオール石川で取り組んでまいりたい。」と挨拶しました。その後、下記議題について報告・協議を行いました。

〈議題〉

1. 今後の主な日程について
2. 建設工事受注高について
3. 各地区協会の活動について
4. 石川県防災士育成協力事業所認定について
5. 復旧・復興工事に携わる作業従事者宿泊施設について
6. 参議院議員選挙候補者との懇談日程について
7. 建設業をめぐる最近の話題について
8. その他



戦略広報・情報化推進委員会

◎建設現場の生産性向上(生成AI活用術)講習会の開催

開催日 令和7年2月6日(木)、2月7日(金)

開催場所 石川県建設総合センター

受講者 14名

講師 株式会社GSuccess 代表取締役 北野雅史氏

概要

「生成AI」は、画像や文章の生成など様々なタスクをこなせる革新的技術であり、建設業界においても生産性向上等への貢献が期待されることから、その基礎知識や活用事例、具体的操作方法等に関する講習会を開催しました。

受講者から、「AIで出来る可能性が広がり、今後の業務に役立てたい。」「生産性向上のために試してみたいことがたくさん見つかった。」等の感想が寄せられ、大変好評でした。当委員会では、今後も建設業界の発展に資する各種講習会を企画開催してまいります。



建設青年委員会

◎講演会の開催

開催日時 令和7年2月21日(金) 16:00~17:30
 開催場所 ANAクラウンプラザホテル金沢
 来賓 国土交通省北陸地方整備局関係
 五十川泰史金沢河川国道事務所長ほか8名
 石川県関係
 三谷浩二郎土木部次長ほか4名
 出席者 70名
 講師 人材教育家・メンタルコーチ 飯山暁朗氏
 共催 東日本建設業保証株式会社

概要

明珺圭祐委員長の挨拶に続き、担い手の確保・育成に焦点をあてた講演会を開催しました。講師の飯山暁朗氏は、企業経営や教育関係、スポーツ分野における人材育成で、各種大会での好成績やオリンピックでのメダル獲得等、多くの実績を有するリーダーシップ・メンタルトレーニング・コーチングの専門家。

飯山講師は、「いまどき部下のやる気を引き出す関わり方」と題し、自身のメンタルコーチの事例をあげ、言語・動作・表情・行動により潜在意識の記憶データを上書きして行くことが部下のやる気を引き出すうえで肝要等と、ユーモアやジェスチャーを交えて話され、大変好評でした。



明珺委員長挨拶



講演会

建設技術研修所

◎建設業税財務講習会の開催

開催日時 令和7年2月4日(火) 13:30~15:30
 開催場所 石川県建設総合センター
 出席者 21名

概要

約束手形・小切手の利用廃止の方針が閣議決定され、産業界や金融界が「2026年度末までの紙の手形・小切手の全面的な電子化」に向けて取り組んでいることを受け、(一社)全国銀行協会及び(株)全銀電子債権ネットワークから講師を招き、建設業税財務講習会を開催しました。



講師	講演
(一社)全国銀行協会 事務・決済システム部次長 古賀 元浩 氏	手形・小切手機能の全面的な電子化に向けた金融界の取組状況について
(株)全銀電子債権ネットワーク 事業推進課長 荒 大樹 氏	「でんさいネット」について

編集担当者からのお知らせ

～協会報の四季報発行～

当協会では、デジタルトランスフォーメーション（DX）の一環として、協会報の内容について協会ホームページやグループウェアの充実活用を図ることとし、今回、令和7年3月号をもって協会報の月間発行を終了し、令和7年度から年4回の四季報発行（4月末・7月末・10月末・1月末）とすることとしました。

今後も皆様方からご意見・ご要望等を賜りながら、引き続き誌面の充実及び広報業務の合理化・効率化に取り組んでまいります。ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業



一般社団法人 石川県建設業協会





建設事業主のみなさん

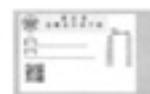
「建設技能者の人材確保・育成」「現場作業員の福祉の向上」
のために建退共制度に加入しませんか!

建設業の退職金は
日本全国どこの現場でも
公共工事も民間工事も

建退共



独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866



建退共



お問い合わせは

建退共石川県支部

〒921-8036 金沢市弥生2-1-23 (石川県建設総合センター1F)
TEL076-242-2608(代) FAX076-241-9258

ますます安心。充実の制度。



契約者割戻金制度が始まっています。

契約者
割戻金制度により
**掛金負担が
軽減**

手厚い補償
保険金区分合計
最高**5,000万円**

労働者と企業の
**リスクを
カバー**

社員と家族、会社を守るために。

建設共済保険

法定外労災補償制度

今すぐ、ご加入を!

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 11階

■ 取扱機関：(一社)石川県建設業協会
〒921-8036 金沢市弥生2-1-23
Tel. 076-242-1161 Fax. 076-241-9258



正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで



0120-913-931

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00 (土日祝を除く)

建設共済保険 検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>



この冊子は、植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用した印刷物です。